



Vol.11

サークル・サークル

市内で活動、活躍する
団体・サークル・チーム
などを紹介

南平笠太鼓愛好会

メンバー18人(10月1日現在)
代表者:福士 博之さん=南平笠=

◎結成何年目ですか？

昭和30年代に発足しました。人材不足により活動を休止した年もありましたが、活動期間約60年と歴史ある団体です。

活動を休止した時には、伝統ある盆踊りを絶やしたくないとの思いで、2人から人集めを始め、今のメンバー(太鼓12人、踊り手6人)を確保するまでに至りました。もちろん、純粋に自分たちが仲間と楽しみたいとの気持ちもありましたが。

◎活動の内容は？

老人ホームなどの介護施設や各地区の夏祭りで活動しています。

今年も市内で開催された10カ所



大きな太鼓で盆踊りを盛り上げます(9月17日、環御祭例大祭)



上の祭りに呼んでいただきました。

◎活動の魅力は？

太鼓を叩く前に、鳴りの要である締め方を行い、響かせたときの高揚感は魅力です。また、重い太鼓を担ぎ、踊り手と一体となった輪には、いつでも気持ちいい汗が流れます。昔から先祖供養のために行われていた盆踊りは、当時の楽しい雰囲気を感じさせ、地域のつながりを今でも感じさせてくれます。時代は変われど、雰囲気そのままに人の輪を広げてくれるものだと思います。

◎今後の目標は？

伝統を受け継ぎ、存続していくことが目標です。そのためには、若い世代への引き継ぎ、唄い手や踊り手の確保に努めていきます。興味のある人はご連絡ください。また「自分たちの祭りやイベントに来てほしい」など、依頼も受け付けていますので、ぜひご相談ください。

■問い合わせ先 代表・福士博之(☎090-4638-3777)

一生懸命に探しますが私には見つけれません。野山にはキノコの他にも、ドングリやトチの実、山ブドウを発見し、むしろ私はそちらの方に夢中になっていました。熊の好物であるヤマ

講師 師から、キノコの生え

加者でにぎわいました。森の野山を散策し、採集したキノコが「食用」か「毒性」かを判別する勉強会で、毎年大人気です。応募は満員で、子どもからご年配の人まで、たくさんの方参加者でにぎわいました。

秋 になり、岩手山や周辺の山々の紅葉が始まりました。9月24日、私は県民の森が主催する「きのこ教室」に参加しました。このイベントは、県民の



今月の担当
玉木 陽子 さん

地域
おこし
協力隊
だより
Vol.42

森 林ふれあい学習館フォレストに帰って、参加者が採集したキノコの鑑定会が始まりました。机にキノコを並べ、講師が選別します。私が採集したキノコは残念ながら「毒性」ばかりでしたが、森林に囲まれてマイナスイオンを浴びた喜びと、実りの秋を堪能することができ、とても満足した一日となりました。

温泉郷に住む私にとって、すぐそばの野山が、まるで宝の山のように、改めて八幡平市の良さを感じたのでした。



ヤマボウシの実

ボウシの実を食べてみると、甘くてクリーミーな味がして、新しい発見でした。